

令和5年度

文部科学省 WWLコンソーシアム構築支援事業 成果報告会

長崎県立長崎東中学校・高等学校

カリキュラム開発

『SDGsを基盤とした文理融合型の学び』



# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和6年度以降の計画

# 目次

- 1 事業構想概要**
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和6年度以降の計画

# 1 事業構想概要

## 【長崎県立長崎東中学校・高等学校 概要】

1884(明治17)年	県立長崎中学校開校
1912(明治45)年	県立長崎高等女学校開校
1922(大正11)年	市立高等女学校開校
1923(大正12)年	県立瓊浦中学校開校
1948(昭和23)年	学制改革により改称 東西に統廃合 長崎市西山町に開校
1976(昭和51)年	現在地(長崎市立山)に移転
2004(平成16)年	長崎東中学校開校
2015(平成27)年	国際科設置 SGH (スーパーグローバルハイスクール) に指定
2018(平成30)年	創立70周年記念式典挙行
2020(令和 2)年	WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業拠点校に指定

### 「ともによき世を創る」



旧制長崎中学校出身 文学者山本健吉氏の言葉

学級数 中学 1 学年 3 学級 計 9 学級 ・ 高校 1 学年 7 学級 計 21 学級、計 30 学級  
在籍数 中学 356 名 ・ 高校 804 名、計 1,160 名 (令和 6 年 2 月 1 日現在)

# 「世界の平和と共生」に貢献するイノベティブなグローバル人材の育成

【課題発見・解決力】主体的に課題に向き合い発見・解決する力

【創造力】学んだことを活用し、新たな価値を創造する力

【情報分析・活用力】物事を多角的に捉え、情報を選択・分析・活用する力

【自己表現力】考え・意見を発信し、他者に影響を与える力

【協働性】多様な人々と対話や議論を通じて協働する姿勢

【学ぶ意欲】学問に関心を持ち、自ら高度な学びに向かう姿勢

【地球市民性】世界平和を希求し、持続可能社会に貢献する姿勢

## 協働・共創でイノベーションをーながさきクロスロードプロジェクトの展開



管理機関：長崎県教育委員会  
ALネットワーク運営組織  
運営指導委員会  
事業検証委員会



拠点校：長崎東中学校・高等学校

### 「ともによき世を創る」Co-creating a Better Society

- ・多様な海外フィールドワーク
- ・同窓会の基金による海外派遣
- ・中学校段階からの体系的探究活動
- ・SDGsの視点を取り入れた授業展開
- ・文理の枠を超えたカリキュラム編成
- ・第2外国語（中国語）の開設
- ・アジア架け橋PJ等による留学生受入
- ・高校生国際会議の開催



歴史×未来  
環境×経済  
アジア×欧米

自然×社会  
都市部×離島  
教育×地域創生



#### 海外連携校・協力機関

米国、カナダ、オランダ、シンガポール、マレーシア、ベトナム、中国、韓国等

- ・共同研究、フィールドワーク
- ・WEB会議等による意見交換
- ・高校生国際会議への参加

#### 海外の若者との議論と協働

#### 企業・NPO等

ハウステンボス、ジャパネットHD、十八親和銀行、長崎新聞社、三菱重工業協和機電、九州教具、JICA九州、地域循環研究所、にこにこ一般財団等

- ・地域課題からグローバル課題へ
- ・社会と繋がる多様な学びの提供
- ・地域資源や卒業生等の活用

#### 高校×企業で社会に貢献

#### 国内大学

長崎大学  
長崎県立大  
長崎純心大  
大阪府立大

- ・大学教育の先取り履修
- ・大学と協働する課題研究
- ・留学生・大学（院）生の活用
- ・公開講座、オープンラボ
- ・高校生国際会議への協力

#### 高度な学びを提供するシステム構築

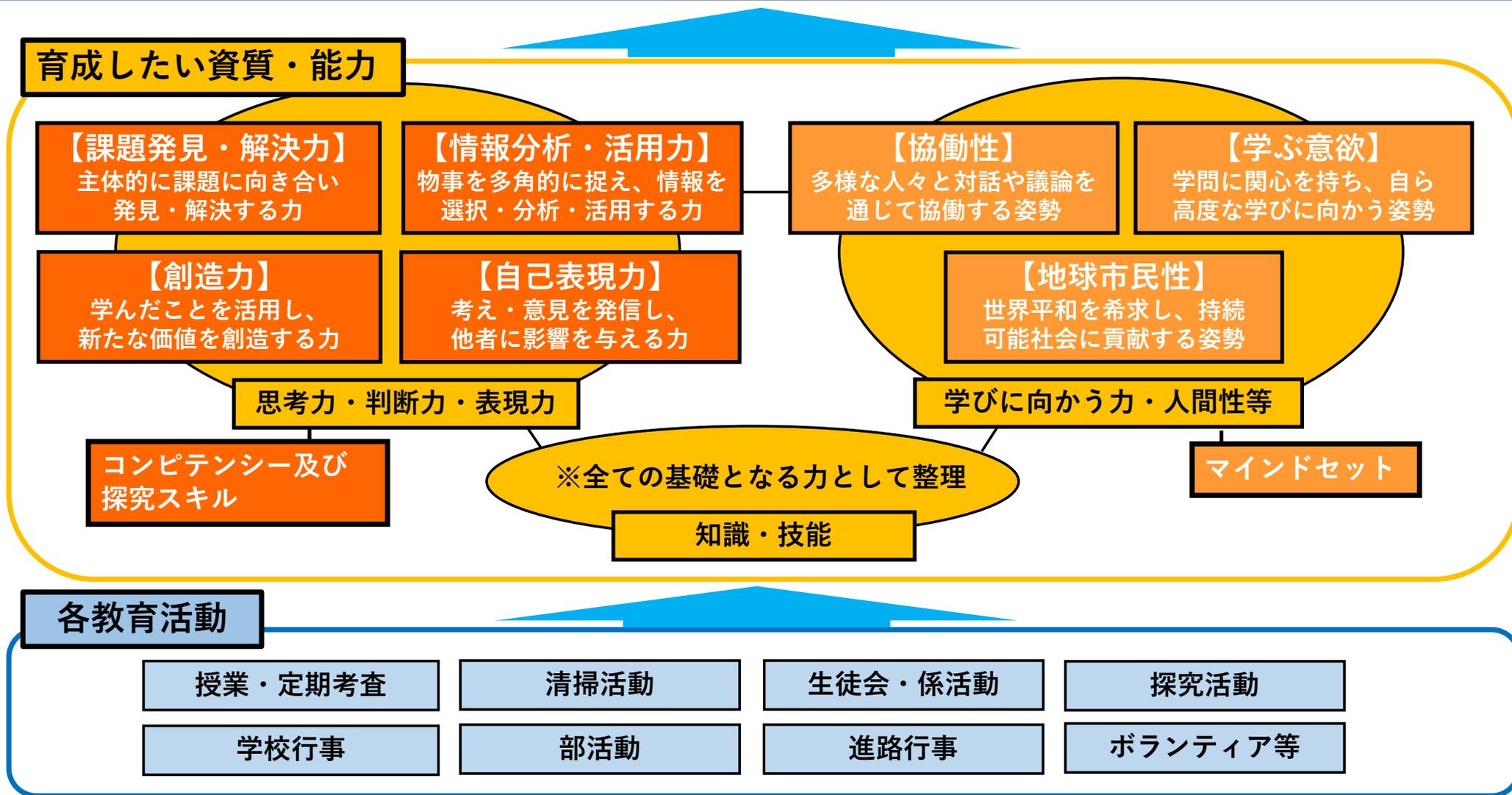
#### 事業連携校

<b>SSH校</b> 長崎西高、長崎南高、大村高 ・文理の枠を超えた研究成果の共有	<b>併設型中高一貫校</b> 佐世保北中高、諫早中高 ・中高を接続する探究モデル構築
<b>離島留学実施校</b> 対馬高、壱岐高 ・離島をフィールドにした探究活動 ・遠隔システムの活用	<b>県外連携校</b> 舟入高、広島女学院中高、三島北高、立命館宇治中高 ・共同フィールドワーク ・研究成果の共有

#### 探究の広がり と 深化 国際会議の共同開催

# 1 事業構想概要

## 「世界の平和と共生」に貢献するイノベティブなグローバル人材の育成



# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発**
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和6年度以降の計画

## 2 カリキュラム開発

### (1) 高大接続

#### 【長崎大学】

##### ① 拠点校事業（長崎県全体への普及）

拠点校が事務局となり県内高校と長崎大学との連絡調整を実施し高大接続を行う。

令和5年度は県内15校、生徒119名が参加。8月に下記の講座を実施。

- ・『高校生公開講座』9講座、参加生徒60名
- ・『オープンラボ』15講座、参加生徒59名

##### ② 校内の事業

- ・ **出前講座**…9学部（多文化・経済・教育・医・保健・工・環境・水産・情報）  
拠点校に教授陣を招聘し講座を実施、多様で高度な学びを体験する。  
令和5年度は13講座を実施。高校2年生259名が受講。
- ・ **生徒の探究活動の指導・助言**…研究室訪問、インタビュー、質疑応答。

#### 【広島大学】

令和4年度に**広島大学WWLコンソーシアム構築支援事業に連携校として加盟**。

令和5年度は**広島大学アドバンストプレイスメント**に参画し、

**大学の履修・単位認定**を行う授業科目を受講。

「日本の文学（近現代）」（2単位）高校2年生1名

## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ①中学校からの体系的な探究活動

高3	国際社会に 発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生国際平和会議…国内外の高校生と世界課題について協議</li> <li>・ 高校生平和共同宣言…多言語</li> <li>・ 探究ピア・サポート…下級生の探究学習の指導・助言</li> <li>・ 主体的な学習の時間（E-time）…週2コマ</li> </ul>
高2	SDGsを 探究する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs探究（学年内でチームor個人）…文理融合でチーム編成</li> <li>・ WWL探究発表会…英語or日本語</li> <li>・ 主体的な学習の時間（E-time）…週2コマ</li> </ul>
高1	SDGsで 協働する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs探究（クラス内チーム）…SDGsをテーマに探究学習</li> <li>・ クラス内発表会…日本語</li> <li>・ IGR（Integrated Global Research）…文理融合型の学び</li> <li>・ 探究ベーシック…SDGsを組み込んだ授業</li> </ul>
中3	SDGsを 考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs探究（個人）…SDGsをテーマに探究学習</li> <li>・ SDGsレポート…探究内容を記述し発表</li> <li>・ 附属中学校合同探究発表会…連携校の佐世保北高附属中、諫早高附属中と開催</li> </ul>
中2	SDGsを 知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平和壁新聞…「平和を阻むもの」をテーマに新聞作成</li> <li>・ SDGsリーフレット作成…世界課題について調べてまとめる</li> </ul>
中1	長崎を 知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平和フィールドワーク…長崎市内の被爆遺構を巡る</li> <li>・ 新書レビュー…好きな新書を読了後、ブックレビュー</li> </ul>

## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ②IGR (Integrated Global Research/統合型グローバル探究)

- ・対象は高校1年生、週1単位。
- ・文理融合型の学びにより、**探究学習の基礎となる教養やスキル**を身に付ける。SDGsに関連した学びや、大学教授・企業人の講義などを実施。

#### 【例】ワールド・ワイド・チャンネル

- ・SDGsをテーマにしたハイブリッド講演会、令和5年度は6月に実施
- ・拠点校から県内各校へオンライン配信
- ・講演 NPO法人Red Wood Japan、JICA長崎、Rikkei、一般社団法人OBAMA ST.、協和機電、三菱重工、地域循環研究所、e-Education、熱帯医学研究所、トイレ協会、ハウステンボス、京セラ、イシマル、九州教具、ジャパネットホールディングス、子育ての家、京都大学、神戸大学、九州大学、長崎大学、長崎県立大学、長崎純心大学 等



## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ③探究ベーシック

- ・対象は高校1年生。
- ・各教科・科目で**SDGsを踏まえた授業展開**を系統的に実施（年間シラバス作成）

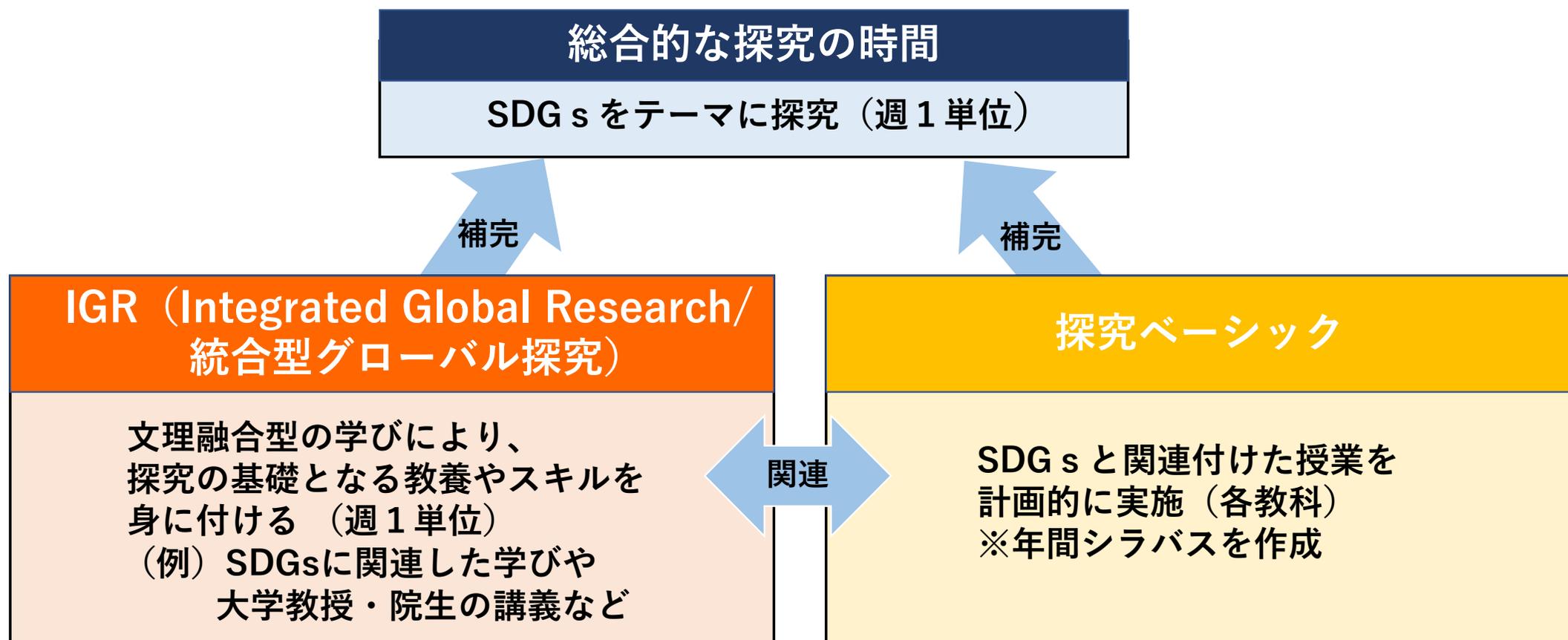
[例]	教科	内容	SDG s
	国語	『羅生門』（芥川龍之介）＋『貧困は自己責任なのか』（湯浅誠）を読み、登場人物の状況を分析、救済策を考察	1・2・3・4 10・16
	数学	数学Ⅰ（論理と集合、2次関数）の中で、協働して目標を達成するプロセスを経験	17
	化学基礎	化学反応の量的関係と環境問題の考察（日本の天然ガス消費による二酸化炭素の排出量、海の生物に与える影響）	13・14
	歴史総合	近代化・大衆化・グローバル化をテーマに、国家の形成や帝国主義に対する民衆の行動について俯瞰して捉える	1・10・16
	家庭	エコクッキングを取り入れた弁当献立を考える	2・3・13
	保健	感染症について学ぶ（種類、予防、性感染症、エイズ）	3
	英語	CROWN Communication English I Lesson5 Food Bank	2

## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ④IGRと探究ベーシックの位置付け

※IGRで探究基礎力を培い、探究ベーシックで探究と教科学習との連動制、相関性を高める。



## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】

高2

#### ◎総合的な探究の時間

- ・ 個人の“興味・関心”に基づき「探究テーマ」を決定。  
生徒が“探究したいこと”から“SDGs”へと繋げる。
- ・ 学年を解体し、「探究テーマ」に基づき、  
生徒たちで自由にチームづくりを実施。
- ・ チームは“文理融合”を推奨する。（個人も可）
- ・ 年度を通してチーム生徒の入替、テーマ変更等は可能。
- ・ 『集合知』の価値を体感する。

高1

- ・ 総合的な探究の時間…クラス内チーム
- ・ IGR（Integrated Global Research）…文理融合型の学び
- ・ 探究ベーシック…SDGsを組み込んだ授業

## 2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】



Limoas  
hand lotion  
リモアスハンドローション



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



感染症への理解を深め各種細菌に  
対する抗菌作用の試験を行い感染  
症予防の啓蒙を目指します。



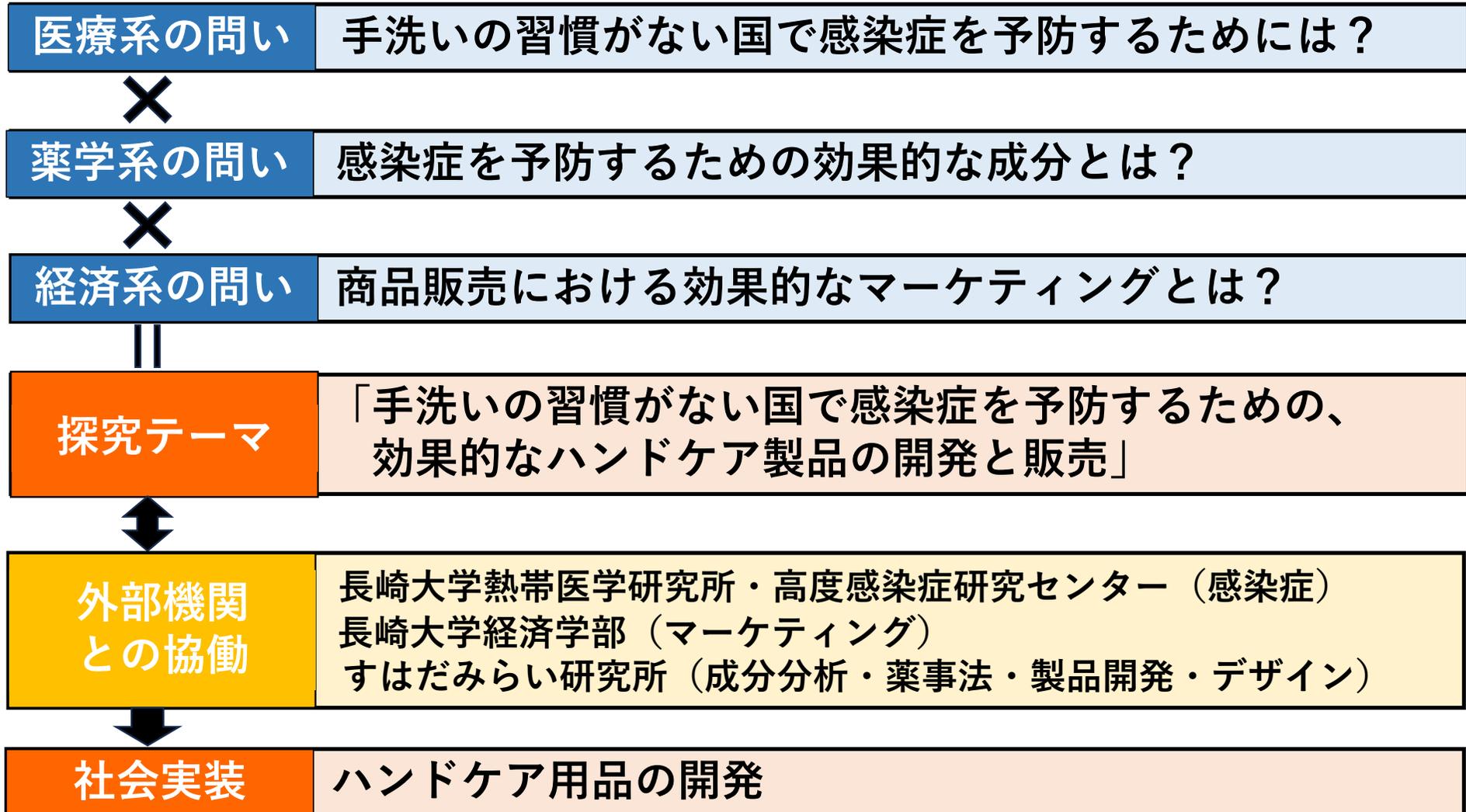
リモアスハンドローションは高品質  
原料において環境に負担の少ない、  
環境配慮型容器を使用しています。

長崎県立東高等学校 × すはだみらい研究所

## 2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】



2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】  
【経済系×薬学系×経済系のチーム】



## 2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】

4.結果と考察  
海中栽培経費額（設備費）

・海面に漂わせる方法

品目	価格	数	必要額
ブイ	3,520	200	704,000
錨	2,708	200	541,600
ロープ（直径20mm）	10,300	125	1,287,500
ロープ（直径9mm）	97,300	10	973,000
合計（五年あたり）			¥3,506,100
合計（一年あたり）	3,506,100	1/5	¥701,220

・ロープを海中に沈める方法（京都府農林水産技術海洋センター学報より引用）

五年あたり	¥12,915,000
一年あたり	¥2,583,000

2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】



2 カリキュラム開発 (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び ⑤文理融合の探究チーム【高2】

【経済系×環境系×理学系×国際系のチーム】

経済系の問い 長崎の離島振興のために、地域資源を活かして利益を得るためには？

環境系の問い 二酸化炭素排出量を防ぐための効果的な方法とは？

理学系の問い 自然界で起こる藻場の発生と減少の原理とは？

国際系の問い 国際的な経済格差を解決に導く手立てとは？

探究テーマ

「栄養価が高く、かつ畜産牛から出る暖気のメタンガスを減少させる付加価値を備えた、藻を原料とした畜産飼料の生産・販売のためのビジネスプラン～五島列島の藻場造成と五島牛ブランドの推進～」

外部機関との協働

北海道大学（環境気候学）、長崎大学（経済学、ビジネスプラン検証）、  
壱岐市役所・五島市役所（地域創生）、畜産農家・養鶏農家（肥料の効果検証）  
壱岐栽培センター（藻場造成）、長崎市水産センター（地域漁場の実態）

## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ⑥探究ピア・サポート

- ・「生徒による探究の自走化」を行い「質の高い探究」を持続可能にする。  
上級生が下級生の探究活動に指導・助言や激励を行う。
- ・令和5年度は、高3が中3・高1に対して、模擬発表、テーマ設定、問い立て、資料活用、表・グラフの作成法、ポスター作製や発表の仕方等、**探究活動全般について指導・支援**を行った。



## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ⑦自主的な学習の時間（E-time）

- ・対象は高校2・3年生。（週2単位）
- ・週2コマを生徒が自由に学べる時間として設定。（探究学習、教科学習等）

〔例〕高2  
国際科文系  
時間割

	月	火	水	木	金
1	選択※	総合英語	現代文B	地学基礎	日本史A
2	古典	世界史B	世界史B	時事英語	体育
3	生物基礎	地学基礎	英語表現	選択※	数学
4	世界史B	現代文B	数学	選択※	古典
5	数学	数学	生物基礎	古典	選択※
6	日本史A	体育	<b>探究</b>	数学	英語
7	総合英語	LHR	<b>E-time</b>	保健	<b>E-time</b>

※「選択」は  
学校設定科目の  
「国語探究」  
「数学探究」  
「英語探究」  
「中国語」から  
2科目選択し、  
各2単位受講。

## 2 カリキュラム開発

### (2)SDGsを基盤とした文理融合型の学び

#### ⑧学校設定科目

・対象は高校2、3年生。・探究と教科学習との連動性、相関性を高める。

#### 【学校設定科目一覧】



科目	学年	内容
国語探究	高2	豊かな日本語表現を味わい、日本の歴史・文化、日本人のものの考え方について考え、表現する。特に、宮沢賢治の作品を基盤に「幸福とは何か」を班で協働して探究する。
数学探究	高2	個別思考の場と協働的な検討の場を併用し、思考力・問題解決能力を養う。授業支援アプリの「MetaMoJi Class Room」を活用して、班で協働して解法を探る。
英語探究	高2	最新の英語ニュースを通じてグローバル課題についての知識や理解を深め、課題の原因や解決策について、英語で思考しプレゼンテーションやディスカッション、ディベートなどを行い表現力を養う。また、外国人講師によるオンライン英会話を行う。（長崎県英語教育支援事業）
中国語	高2	中国語による簡単な会話や表現、その基礎となる簡体字に対する理解や発音（ピンイン・声調）を習得し、基礎的な文法・語彙を身に付ける。福建省培元中学校とオンライン交流を行う。
日本語探究	高3	日本語の論理的な構造や「書き言葉」の使い方について学ぶ。また、論理的文章や文学的文章のテーマをもとに小論文を書き、相互批評を行って、より深い考察へとつなげる。
地歴特論	高3	世界の一体化を説明する理論を取り上げながら、今日のグローバル化の起源と本質について理解を深める。班でテーマを決めディスカッションを行い、考察を深める。
サイエンス特論	高2 高3	科学技術の発展やグローバル課題の解決に向けて、科学的な思考力や問題解決能力を育成する。実験結果について数学的な統計処理を行い、実験の方法・結果・考察を班でまとめ発表する。

# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク**
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和6年度以降の計画

### 3 国内・海外フィールドワーク

#### (1)国内フィールドワーク

- ・対象は高校1、2年生。
- ・生徒の探究テーマを踏まえ各チームごとに実施。
- ・コロナ禍の際は長崎県内を中心にオンラインも含め実施。
- ・令和2年度よりこれまで300以上の外部機関と連携。



[例]

<b>県外</b>	<p><b>【広島市】</b> 広島平和フィールドワーク（平和遺構巡検、原爆資料館、被爆者講演、広島市立舟入との平和交流、広島女学院主催Peace Forum参加、西城農業高校、広島高校、吉田高校、尾道北高校、尾道東高校との合同平和探究）</p> <p><b>【別府市】</b> 別府平和フィールドワーク（ウクライナ避難民支援団体NPO法人Beautiful World、別府市役所防災危機管理課）等</p>
<b>県内</b>	<p><b>【壱岐市】</b> 壱岐市役所SDGs未来課、NPO法人チーム防人、壱岐高校探究交流 等</p> <p><b>【対馬市】</b> 対馬CAPPA、対馬市役所、対馬高校環境合同フィールドワーク 等</p> <p><b>【五島市】</b> 離島医療研究所、海岸藻場地、養鶏農家、五島市役所 等</p> <p><b>【佐世保市】</b> ハウステンボス、森きらら、佐世保市役所、佐世保警察署、長崎国際大学 等</p> <p><b>【大村市】</b> ガラスの海、子ども未来館、地域子育て支援センター、大村市役所 等</p> <p><b>【諫早市】</b> 諫早東特別支援学校、鎮西学院大学、創成館高校、Vファーレンロード 等</p> <p><b>【雲仙市】</b> 雲仙きのこ本舗、小浜温泉バイナリー発電所、雲仙市役所 等</p> <p><b>【長崎市】</b> 協和機電、三菱重工業、九州教具、水産試験場、トイレの会、長崎市役所 等</p>

### 3 国内・海外フィールドワーク

#### (2)海外フィールドワーク

・オンラインを通じた国際交流（下記記載は一部）も広く実施。

[例]

国・地域	対象	時期	形態	内容
カナダ	中2 高1	3月 下旬	現地	ブリティッシュコロンビア大学生との交流、ディスカッション、プレゼンテーション
ベトナム	高2	8月 月上旬	現地	長崎大学熱帯医学研究所ベトナム拠点、JICA、ベトナム保健省、パスツール研究所での感染症調査
シンガポール・マレーシア	高2	12月	現地	シンガポール国立大での模擬国連、マレーシア工科大でのディスカッション
アメリカ (ニューヨーク)	高2	3月 月上旬	現地	国連にて中満泉国連事務次長、軍縮部職員・ODA職員と「高校生平和共同宣言」の意見交換、プレゼンテーション
アメリカ (ハワイ)	高2	3月 月下旬	現地	連携校であるUniversity Laboratory Schoolと真珠湾遺構調査、平和共同宣言検討、ハワイ大学院生とのディスカッション
オランダ	高2	3月 月下旬	現地	オランダライデン市のWWL連携校との交流、平和共同宣言について意見交換
中国	高2	6月～ 10月	オン ライン	長崎在中国総領事講演、長崎の中国文化研究、福建省培元中学校と文化交流、探究成果の相互発表

# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議**
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和6年度以降の計画

## 4 高校生国際平和会議

### (1) 高校生国際平和会議

【目的】 未来社会を担う国内外の高校生が、「**広義の平和**」についてディスカッションを行い学びを深め、**友好交流の契機**とする。

【期日】 令和5年7月28日（金）  
※前日に平和フィールドワークを実施

【場所】 長崎ブリックホール

【形態】 対面・オンラインのハイブリッドによる  
パネルディスカッション

【参加校・機関】 **計19校、1機関** 参加生徒 **約1200名**



国外	University Laboratory School（ <b>ハワイ</b> ）、Visser't Hooft Lyceum（ <b>オランダ</b> ）、 上海市甘泉外国語中学（ <b>中国</b> ）、上海市洪山中学（ <b>中国</b> ）、福建省培元中学（ <b>中国</b> ）、 Rajini school（ <b>タイ</b> ）、NPO 法人 Beautiful World（ <b>ウクライナ</b> ）
長崎 県外	南多摩中等教育学校（ <b>東京</b> ）、三島北高等学校（ <b>静岡</b> ）、国際高等学校（ <b>奈良</b> ）、 追手門学院大手前高等学校（ <b>大阪</b> ）、関西創価高等学校（ <b>大阪</b> ）、 六甲学院高等学校（ <b>兵庫</b> ）、舟入高等学校（ <b>広島</b> ）、沖縄尚学高等学校（ <b>沖縄</b> ）
長崎 県内	創成館高等学校、諫早商業高等学校、大村高等学校、長崎南高等学校、長崎東高等学校

## 4 高校生国際平和会議

### (1) 高校生国際平和会議

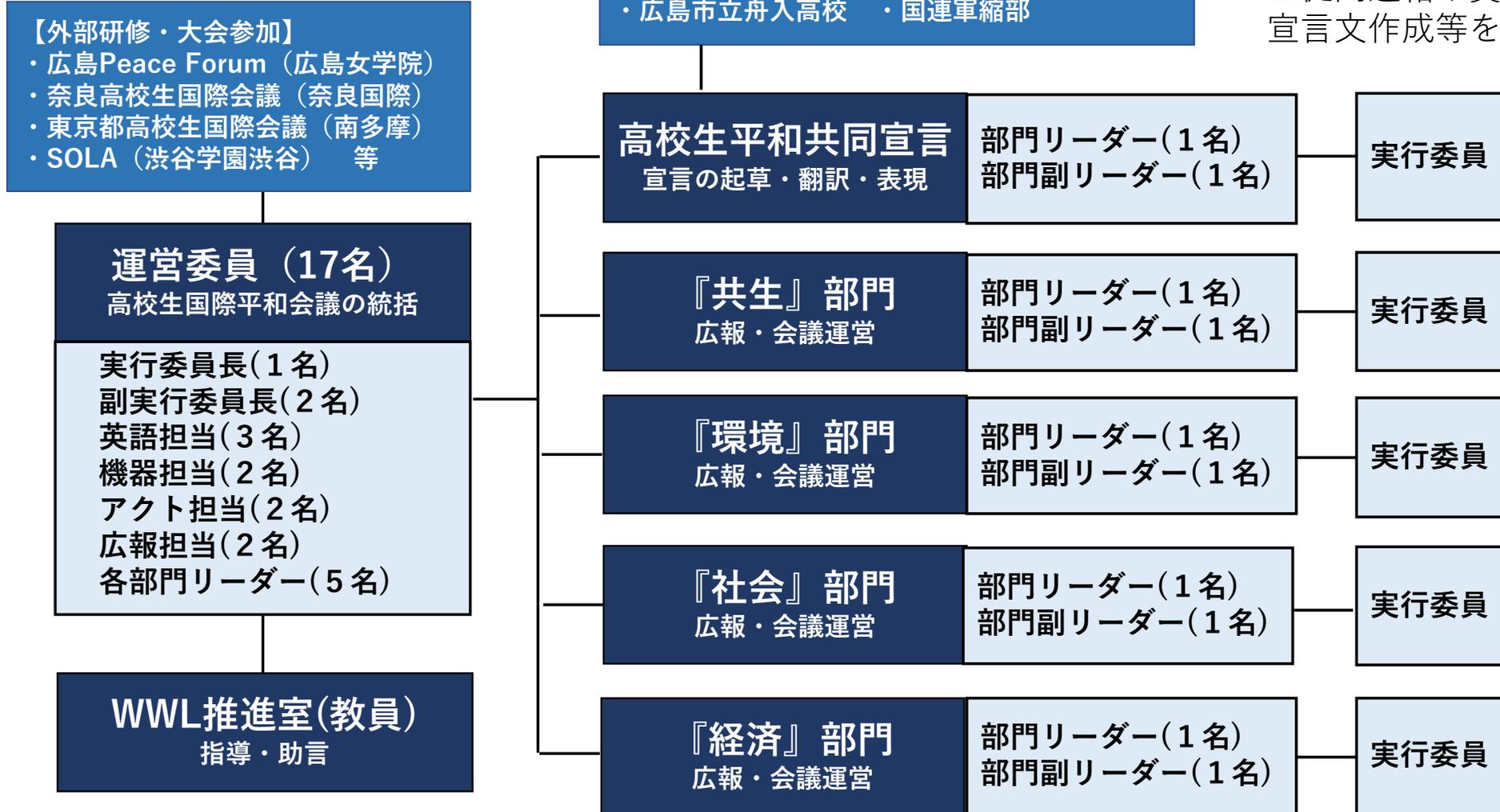
【内容】 SDGs 17を『共生』『環境』『社会』『経済』の4カテゴリーに分け、英語の部・日本語の部の2部門で開催。チームアプリ「Slack」やTeamsを活用し、会議チームごとに事前学習・会議練習を生徒主体で実施。



カテゴリー	SDGs	主題
『共生』	10,16,17	英語の部『What is needed to live together in harmony in each culture : 異文化共生の推進』 日本語の部『核の廃絶：世界平和の実現へ』
『環境』	6,7,12,13,14,15	英語の部『What we can do for a sustainable environment : 持続可能な環境』 日本語の部『地球温暖化の防止：温室効果ガス排出量ゼロへ』
『社会』	1,2,3,4,5	英語の部『What we can do to create a diverse society : 多様性ある社会』 日本語の部『ジェンダー平等の実現：すべての女性が幸福になる社会に』
『経済』	8,9,11	英語の部『What is the meaning of work : 「働くこと」の意味』 日本語の部『ディーセントワークの推進：誰もが働く喜びを実感できる社会に』

## 4 高校生国際平和会議

### (1) 高校生国際平和会議



※Microsoft Teamsを  
活用してチームを作成。  
生徒間連絡や資料共有、  
宣言文作成等を実施

## 4 高校生国際平和会議

### (2) 高校生平和共同宣言

- ・「広義の平和」について、高校生が世界にメッセージを発信する。
- ・広島市立舟入高校と長崎東高校の生徒が協働し文言を作成。
- ・作成過程では中満泉国連事務次長、ODA本部、国連軍縮部、長崎大学核兵器廃絶センターRECNA、東京外国語大学、JICA等、多様な機関と協働。
- ・アラビア語・スペイン語・フランス語・オランダ語・中国語・韓国語・ロシア語・ウクライナ語・英語・日本語の計10言語に翻訳。
- ・令和6年度には国連ホームページへの掲載を進め、普及・発信を推進する。



# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修**
- 6 研究開発成果の普及・評価
- 7 令和5年度以降の計画

## 5 教員研修

### (1) 探究学習の職員研修

…5月（問い立ての手法）に、  
対面とオンラインのハイブリッド形式で実施。  
県内公立私立高校22名が参加。

### (2) 「探究型授業」の開発実践

#### ① 公開授業月間

…6月と10月の年2回、  
創造的な思考力を育成する「探究型授業」を各教科で考案し実践。

#### ② 九州地区合同研究会

…10月にベネッセコーポレーションと共同し開催。  
拠点校による「創造的思考力を育む探究型授業」をテーマに、  
公開授業と授業研究会を行った。対面・オンラインで開催し70名以上参加。



### (3) 校内自主研修「この指とまれ」

…職員の自主研修を奨励。11月には「読解力向上」をテーマに有志で実施。

# 目次

- 1 事業構想概要
- 2 カリキュラム開発
- 3 国内・海外フィールドワーク
- 4 高校生国際平和会議
- 5 教員研修
- 6 研究開発成果の普及・評価**
- 7 令和5年度以降の計画

## 6 研究開発成果の普及・評価

### (1)研究開発成果の普及

#### ①WWL長崎フォーラム (R2～R4)

…WWL協働校と共に対面とオンラインで開催。  
探究成果発表とともにパネルディスカッションを実施。

#### ②WWL探究発表会 (R2～R5)

…WWL協働校をはじめ国内外の高校生と開催。  
対面とオンライン（事前録画も可）のハイブリッドで実施。  
探究成果を発表し、普及を図る。

#### ③管理機関主催「成果報告会」

…長崎県庁にて実施。対面とともに県内各校へオンライン配信。

#### ④公式SNS(Facebook、Instagram) 開設・ホームページ活用

#### ⑤ワールド・ワイド・レポートの発行（月2回程度）



## 6 研究開発成果の普及・評価

### (2)研究開発成果の評価 ①指定4年間 (R2～R5) 大会・コンテスト、成果物作成等実績 (一部)

	内容
大会・コンテスト等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミドルベリー国際大学院ジェームズマーティン不拡散研究センターCIF…優秀賞、ユース非核特使委属</li> <li>・高校生鹿児島国際シンポジウム ポスターセッションの部…第2位 (全国2位)</li> <li>・WWL 全国高校生フォーラム…生徒投票賞1位</li> <li>・静岡県高校生グローバル課題研究ポスターセッション大会…オーディエンス賞</li> <li>・ながさき未来デザイン高校生SDGs推進事業アントレプレナーシップゼミ…最優秀賞、優秀賞</li> <li>・ながさき未来デザイン高校生SDGs推進事業長崎を元気にするアイデアコンテスト…奨励賞</li> <li>・山口大学知財創造実践甲子園…審査員特別賞、奨励賞</li> <li>・「夢・化学ー21」委員会主催 化学グランプリ…金賞 (長崎県初)</li> <li>・日本水フォーラム アジア・太平洋水サミット…天皇陛下と懇談、代表発表</li> <li>・株式会社トモノカイ主催 「自由すぎる研究グランプリ」…イノベーション大賞 (最優秀賞)</li> <li>・日本水産学会主催 全国高校生ポスター発表会…最優秀賞</li> <li>・衛星設計コンテスト実行委員会主催 衛星設計コンテスト…日本ロケット協会宙女賞</li> <li>・長崎県教育委員会主催 長崎県英語スピーチコンテスト…優勝 (九州大会出場)</li> <li>・大阪大学主催 待兼山国際公共カンファレンス…優秀賞 (全国2位)</li> <li>・SDGs QUEST みらい甲子園 九州北部大会…最優秀賞</li> <li>・ノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス博士との意見交換会に招聘、研究発表</li> <li>・九州大学主催 将来の夢を切り拓く“高大連携”世界に羽ばたく高校生の成果発表会…審査員特別賞</li> </ul>
成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧品会社すはだみらい研究所と協働し感染症予防ハンドケア用品を開発・販売</li> <li>・NPO法人みなとラボと協働し海ゴミ削減啓発の絵本を作成・出版</li> <li>・日本トイレ協会と協働し長崎トイレマップを作成、長崎市長に贈呈</li> </ul>

## 6 研究開発成果の普及・評価

### (2)研究開発成果の評価

#### ②自己評価（ループリック）の開発（令和2年度より実施）

【概要】 構想計画で示した「『世界の平和と公正』に貢献するイノベーティブなグローバル人材の育成」に必要な**7つのスキル・マインド**を測定する。  
(スキル) ①課題発見・解決力 ②創造力 ③情報分析・活用力 ④自己表現力  
(マインド) ⑤協働性 ⑥学ぶ意欲 ⑦地球市民性

【目的】 ・ 自己の成長度を確認し、生徒の自己肯定感の醸成を図る。  
・ 民間の外部評価テストと併せて分析し、生徒のメタ認知力の向上を図る。

【対象と時期】 ・ 対象は高校1～3学年。※3学年は5月のみ実施。  
・ 5月（初期値）→12月（経過値）→3月（学年終了値）の3回実施

【実施内容】 ・ 7つのスキル・マインドを5段階で自己評価し、その理由を記述。  
・ **S（創造）**・**A（活用Ⅱ）**・**B（活用Ⅰ）**・**C（習得）**・D（未達成）  
※令和4年度より文面改訂、現在はD評価をなくし4段階で実施

## 6 研究開発成果の普及・評価 (2)②自己評価 (ルーブリック) の開発と実施

### 長崎東ルーブリック

これまでの学校生活を振り返り、WWL7【学校設定目標】の到達度を自己評価しましょう。

1:自己評価(S~C) 2:自己評価の理由 3:特に力がついた活動(複数選択可):①授業・考査 ②清掃活動 ③探究 ④部活 ⑤行事 ⑥生徒会・係 ⑦学外の活動、その他(自由記述)

※令和4年度より  
文面を改訂し、  
4段階評価で実施

No	WWL7 【学校設定目標】	定義	評価項目				1:評価 S A B C	2:評価の理由	3:特に力がついた活動
			S(創造)	A(活用II)	B(活用I)	C(習得)			
			『つくる』	『ととのえる』	『できる』	『わかる』			
			知識・技能をまかし働かせ、 <u>経験に伴って創造性ある思考や行動</u> ができる。	習得した知識・技能を活用して、 <u>経験を伴った思考や行動</u> ができる。	習得した知識・技能を活用して、 <u>思考や行動</u> ができる。	基礎となる知識・技能を習得できる。			
思考力・判断力・表現力	1	主体的に課題に向き合い発見・解決する力	自ら物事に対して、課題を発見することができる。 <u>妥当性があり、他分野との関係性を踏まえた解決策</u> を考えることができる。	自ら物事に対して、課題を発見することができる。 <u>妥当性のある解決策</u> を考えることができる。	自ら物事に対して、課題を発見することができる。 <u>解決策</u> を考えることができる。	自ら物事に対して、 <u>問題を発見</u> することができる。			
	2	創造力	知識・技能をまかし働かせ、 <u>妥当性があり、創造性のある発想</u> ができる。	学んだ知識・技能を <u>活用</u> して、 <u>妥当性のある発想</u> ができる。	学んだ知識・技能を <u>活用</u> して、 <u>自分なりの発想</u> ができる。	学んだ知識・技能を <u>なぞる</u> ことができる。			
	3	情報分析・活用力	物事を多角的に捉え、複数の情報を論理的に分析し、それらを相互に関連付けて、自分の意見の根拠として使用できる。	物事を多角的に捉え、 <u>複数の情報を論理的に分析し、自分の意見の根拠として使用</u> できる。	物事を客観的な視点で捉え、 <u>真偽を鑑別して読み取った情報を、自分の意見の参考として使用</u> できる。	物事を客観的な視点で捉え、 <u>真偽を鑑別して正確な情報を読み取る</u> ことができる。			
	4	自己表現力	表現において対話を意識し、 <u>他者も自己も考えが深まるよう</u> 、自らの考えや意見を <u>開かれた形で表現</u> することができる。	他者との違いを踏まえ、自らの考えや意見を <u>相手に伝わるよう工夫して表現</u> することができる。	自らの考えや意見を相手に <u>伝わるよう工夫して表現</u> することができる。	自らの考えや意見を表現 <u>することができる</u> 。			
学びに向かう力・人間性等	5	協働性	他者の良さを取り入れながら、 <u>自己の良さを発揮</u> して、建設的な発言や行動ができる。	多様な考えを受け止め、 <u>自己の良さを発揮</u> して、建設的な発言や行動ができる。	他者の考えを受け止めようと、 <u>建設的な発言や行動</u> ができる。	他者の考えを受け止めることができる。			
	6	学び意欲	学習を学ぶ意欲に目覚め、自分が <u>習得</u> したい学習分野とともに、 <u>幅広い教養を身に付ける努力</u> を続けることができる。	自分が <u>習得</u> したい学習分野を自覚し、主体的に <u>社会的な学力を身に付ける努力</u> を続けることができる。	自分の興味・関心と結びつきにくい内容であっても、 <u>主体的をもって学ぶ</u> ことができる。	自分の興味・関心のある内容について、 <u>意欲的に取り組む</u> ことができる。			
	7	地球市民性	多様な人と尊重し合う関係を築くとともに、 <u>社会課題</u> について関心を持ち、 <u>その解決</u> について <u>思考や行動する姿勢</u> を継続している。	多様な人と親和的な関係を築くとともに、 <u>社会課題</u> について関心を持ち、 <u>その解決</u> について <u>思考や行動する姿勢</u> がある。	身近な人とともに、 <u>地域社会と親和的な関係を築く</u> ことができる。	身近な人(家族や親友)と <u>親和的な関係を築く</u> ことができる。			
知識・技能		生きて働く知識・技能の習得を目指し、すべての教育活動で身に付けていく ※教科学習等で求められる力を発揮する							

6 研究開発成果の普及・評価 (2)②自己評価（ルーブリック）の開発と実施  
**【自己評価の推移（4段階評価） 令和5年度 6月（初期値）→12月（経過値）】**

①	課題発見・解決力			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	1%	<b>5%</b>	12%	<b>16%</b>
A	42%	60%	61%	66%
B	51%	31%	26%	17%
C	6%	4%	1%	1%

②	創造力			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	4%	<b>7%</b>	11%	<b>15%</b>
A	45%	47%	55%	61%
B	43%	43%	33%	21%
C	7%	4%	2%	2%

③	情報分析・活用力			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	3%	<b>8%</b>	13%	<b>23%</b>
A	41%	50%	59%	53%
B	48%	37%	26%	23%
C	8%	5%	2%	1%

④	自己表現力			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	8%	<b>12%</b>	16%	<b>18%</b>
A	40%	51%	54%	54%
B	42%	31%	27%	25%
C	10%	6%	3%	3%

⑤	協働性			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	14%	<b>25%</b>	32%	<b>34%</b>
A	43%	47%	49%	51%
B	36%	24%	17%	14%
C	7%	4%	2%	1%

⑥	学ぶ意欲			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	9%	<b>11%</b>	25%	<b>30%</b>
A	45%	47%	53%	49%
B	37%	34%	21%	18%
C	9%	8%	1%	3%

⑦	地球市民性			
	高1		高2	
	6月	12月	6月	12月
S	7%	<b>12%</b>	23%	<b>27%</b>
A	39%	48%	53%	51%
B	44%	33%	22%	21%
C	10%	7%	2%	1%

※ほぼ全ての項目で伸びが見られる。特に「協働性」や「学ぶ意欲」の高さが顕著である。

## 6 研究開発成果の普及・評価

### (2)研究開発成果の評価

#### ③三菱みらい育成財団自己評価アンケート（令和2年度より実施）

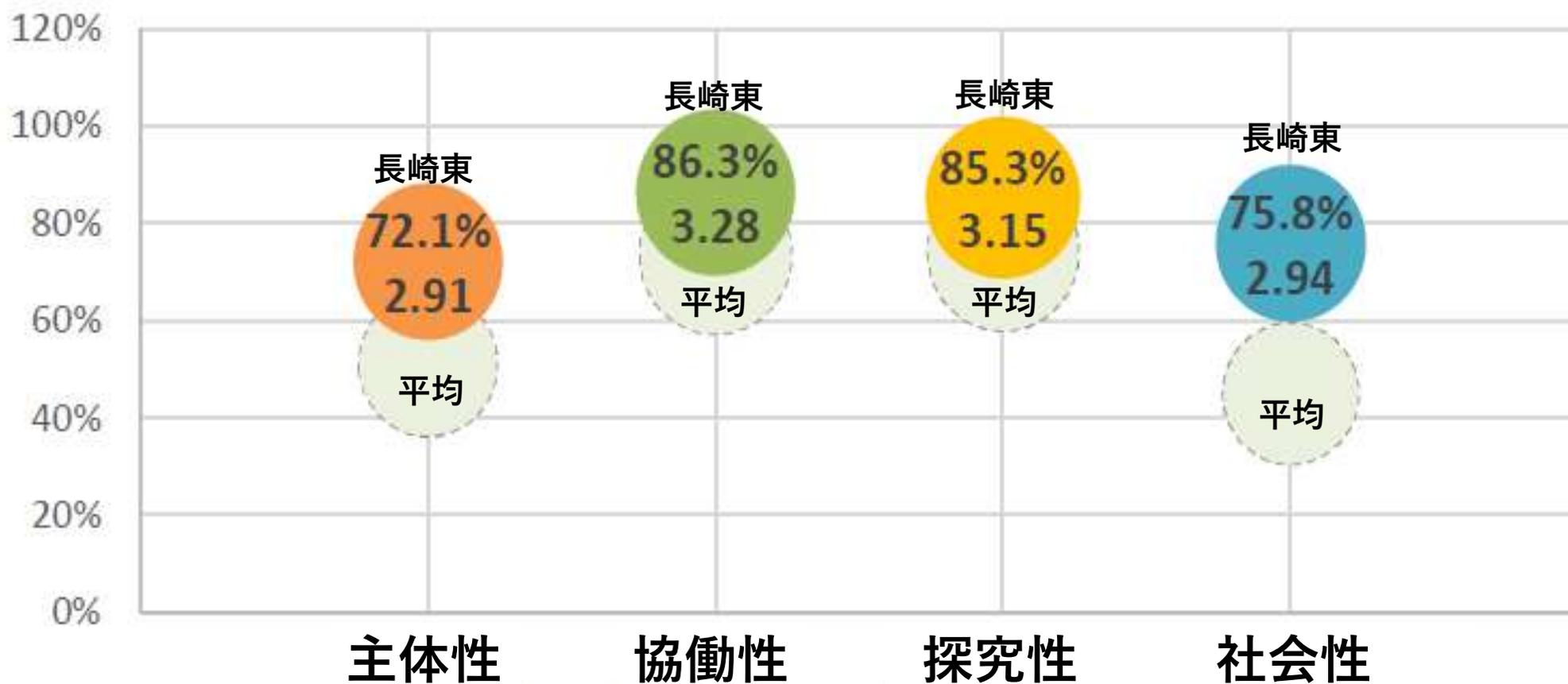
【概要】三菱みらい育成財団『心のエンジンを駆動させるプログラム』の自己評価アンケート（本校は令和2年度よりWWLと併せて指定）

【目的】事業に対する自己評価を行い、その到達度を計る。

【対象と時期】 ・対象は高校1～3年生。  
・年1回、6月に実施。

【内容】生徒の**主体性・協働性・探究性・社会性**について評価。  
※同プログラムに参加している全参加校の平均値と比較が可能。

6 研究開発成果の普及・評価 (2)③三菱みらい育成財団自己評価アンケート  
 【自己評価の全国平均値との差 令和4年度6月実施分】



※全項目で全国平均以上。  
 特に全国平均との比較では、  
 主体性・社会性の高さが顕著である。

● 他地域 ● 自校

## 6 研究開発成果の普及・評価 (2)③三菱みらい育成財団自己評価アンケート

### 【自己評価の小項目過年度比・全国比（抜粋）】

● 10pt以上の増加   
 ● 0~10ptの増加   
 ● 減少

	全校		
	全体	昨年度との差	他地域との差
	割合(%)	差(pt)	差(pt)
<b>主体性</b> に関わる学習活動	72.1%	<span style="color: orange;">●</span> 4.57	<span style="color: green;">●</span> 21.01
5 自主的に調べものや取材を行う	88.7%	<span style="color: orange;">●</span> 2.21	<span style="color: green;">●</span> 16.47
6 学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	55.5%	<span style="color: orange;">●</span> 6.94	<span style="color: green;">●</span> 25.56
<b>協働性</b> に関わる学習活動	86.3%	<span style="color: orange;">●</span> 1.20	<span style="color: green;">●</span> 12.87
7 グループで協力しながら学習や調べものを行う	94.3%	<span style="color: orange;">●</span> 1.31	<span style="color: green;">●</span> 12.78
8 活動、学習内容について生徒同士で話し合う	96.3%	<span style="color: orange;">●</span> 0.98	<span style="color: orange;">●</span> 8.21
9 活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し合う	68.3%	<span style="color: orange;">●</span> 1.30	<span style="color: green;">●</span> 17.62
<b>探究性</b> に関わる学習活動	85.3%	<span style="color: orange;">●</span> 1.32	<span style="color: green;">●</span> 11.16
10 自分の考えを文章や図表にまとめる	76.8%	<span style="color: red;">●</span> -0.05	<span style="color: orange;">●</span> 4.13
11 話し合った内容をまとめる	91.8%	<span style="color: orange;">●</span> 2.23	<span style="color: green;">●</span> 12.27
12 活動、学習のまとめを発表する	87.0%	<span style="color: orange;">●</span> 1.77	<span style="color: green;">●</span> 15.48
13 生徒同士で活動、学習の振り返りを行う	85.3%	<span style="color: orange;">●</span> 1.34	<span style="color: green;">●</span> 12.76
<b>社会性</b> に関わる学習活動	75.8%	<span style="color: orange;">●</span> 2.55	<span style="color: green;">●</span> 30.82
14 地域の魅力や資源について考える	65.3%	<span style="color: red;">●</span> -4.16	<span style="color: green;">●</span> 27.90
15 地域の課題の解決方法について考える	77.3%	<span style="color: orange;">●</span> 3.87	<span style="color: green;">●</span> 36.30
16 日本や世界の課題の解決方法について考える	84.8%	<span style="color: orange;">●</span> 7.95	<span style="color: green;">●</span> 28.28

## 6 研究開発成果の普及・評価

### (2)研究開発成果の評価

#### ④GPS-Academic テスト（平成29年度より実施）

【概要】 ベネッセコーポレーションが実施している思考力テスト。

【目的】 思考力を客観評価し、自己評価（ルーブリック等）と併せ、メタ認知能力の向上を図る。

【対象と時期】 ・対象は高1・2学年。  
・年1回、12月に実施。

【内容】 ・マーク式と記述式の2つのタイプのテストを実施。  
・測定項目は下記の3つ。

**批判的思考力**（情報を抽出し吟味、論理的に組み立てて表現する）

**協働的思考力**（他者との共通点・違いを理解、社会に参画し人と関わる）

**創造的思考力**（情報の関連付け・類推、問題を見出し解決策を生み出す）

## 6 研究開発成果の普及と評価 (2)④GPS-Academic テスト

### 【協働的思考力の過年度比】

高 1						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
S	1%	0%	0%	0%	5%	2%
A	23%	23%	36%	39%	45%	47%
<b>SA計</b>	24%	23%	36%	39%	<b>50%</b>	<b>49%</b>
B	64%	68%	60%	52%	46%	46%
C	13%	9%	4%	9%	3%	5%
D	0%	0%	0%	0%	0%	0%

高 2 国際科						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
S	0%	0%	2%	12%	14%	7%
A	40%	32%	61%	55%	66%	73%
<b>SA計</b>	40%	32%	64%	67%	<b>80%</b>	<b>80%</b>
B	58%	64%	34%	31%	20%	20%
C	3%	6%	3%	3%	0%	5%
D	0%	0%	0%	0%	0%	0%

高 2 普通科						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
S	0%	0%	0%	1%	4%	3%
A	29%	18%	34%	40%	49%	51%
<b>SA計</b>	24%	23%	36%	39%	<b>53%</b>	<b>54%</b>
B	64%	70%	56%	50%	42%	43%
C	7%	9%	10%	9%	5%	3%
D	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※他者との共通点・違いを理解し、社会に参画し人と関わろうとする『協働的思考力』の伸長が著しい。

※本校作成のルーブリックをはじめとする各種アンケートにおいて「協働性」「社会性」の高さが顕著であることから、自己評価の値と外部評価の値には整合性があり、生徒のメタ認知能力の高さを顕在化できた。

## 6 研究開発成果の普及と評価 (2)④GPS-Academic テスト

### 【高1の批判的思考力の過年度比】

高1								
批判的思考力								
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
S	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	2%
A	15%	17%	28%	34%	35%	27%	39%	45%
B	72%	68%	68%	64%	57%	56%	51%	47%
C	13%	14%	4%	2%	8%	15%	8%	5%
D	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※情報を抽出して吟味し、論理的に組み立てて表現する『批判的思考力』が過去最高値。

※特に「論理的に組み立てて表現する」力の伸長が著しく、全国平均と比較しても高い。

※IGRにおける文理融合の学びや、探究ベーシックの探究的な学びを通して、探究基礎力となる思考力が養われていることがうかがえる。

【R4 批判的思考力 細目 長崎東】

批判的思考力			
	総合評価	情報を抽出し吟味する	論理的に組み立てて表現する
S	0.8%	5.2%	
A	39.4%	29.3%	20.5%
B	51.4%	36.1%	66.7%
C	8.4%	24.9%	12.9%
D	0.0%	4.4%	0.0%
合計	100%	100%	100%

【R5 批判的思考力 細目 長崎東】

批判的思考力			
	総合評価	情報を抽出し吟味する	論理的に組み立てて表現する
S	1.9%	3.5%	
A	45.2%	30.1%	42.1%
B	47.1%	35.5%	48.6%
C	5.4%	28.2%	8.9%
D	0.4%	2.7%	0.4%
合計	100%	100%	100%

【R5 批判的思考力 細目 全国平均】

批判的思考力			
	総合評価	情報を抽出し吟味する	論理的に組み立てて表現する
S	1.8%	4.0%	
A	35.8%	23.5%	32.1%
B	50.7%	35.8%	52.5%
C	11.6%	30.6%	14.8%
D	0.2%	6.2%	0.6%
合計	100%	100%	100%

※「論理的に組み立てて表現する」力については、S評価の設定なし

## 6 研究開発成果の普及・評価 (2)研究開発成果の評価 ⑤各種アンケート

【WWL 生徒アンケート過年度比較（抜粋）】 令和3年9月→令和4年6月→令和5年6月

分類	質問項目	R5/6	R4/6	R3/9
生徒の変容	①学校生活への満足度（5段階4以上）	79.9%	79.2%	76.7%
	②留学や海外に行くことに前向きな生徒が多い（5段階3以上）	92.8%	85.4%	81.6%
	③海外の人との交流に積極的な生徒が多い（オンライン含む）（同上）	91.7%	86.5%	79.5%
	④学校以外の人との交流（地域や企業など）に積極的な生徒が多い（同上）	90.4%	89.2%	88.0%
	⑤海外で働くなど、仕事で国際的に活躍したい（同上）	51.5%	51.3%	45.9%
協働性	①同じ人間として他の文化の人々を尊重する（5段階3以上）	99.5%	98.9%	99.1%
	②世界の一部の人の暮らしの劣悪な条件に、何かしなければと責任を感じる（5段階4以上）	85.5%	86.9%	82.7%
	③相手との協力関係が築くように心がける（5段階3以上）	98.4%	98.3%	98.3%
	④反対意見にも耳を傾ける（同上）	98.8%	97.6%	98.3%

【生徒・職員 学校評価 過年度比較（抜粋）】 令和3年→令和4年→令和5年 ※すべて年度内1月に調査

質問項目	R5	R4	R3
【生徒】 私は、学校の授業や学習指導に満足している（4段階3以上）	90.5%	92.9%	91.4%
【生徒】 私は、将来グローバル人材として活躍したいと思っている。（同上）	56.5%	49.6%	57.8%
【職員】 長崎東は、学校全体で授業改善や指導力の向上に取り組んでいる（同上）	97.3%	100.0%	95.8%

## 7 令和6年度以降の計画

### (1) 生徒の自走による質の高い探究活動の継承

- ・ 生徒たち自身で探究のノウハウを継承する『探究ピア・サポート』は、対象学年を拡大し、高3の希望者による「ピア・サポートリーダー」を決定し、組織的に活動し運営を行う。
- ・ 発表会等の探究に関する行事についても、生徒による運営の組織的な継承を行う。
- ・ 上級生が下級生を導き、生徒自身が「ひがしの探究」を継承する体制を構築する。

### (2) グローバルな教育活動の推進

- ・ University Laboratory School（ハワイ大学附属高校）や広島市立舟入高校との平和探究、三菱重工とのカーボンニュートラル研究を実施する等、国内外高校・企業との共同探究を推進する。
- ・ ニューヨーク国連軍縮部や国連大学でのフィールドワークを実施し、「高校生平和共同宣言」の普及活動を通してグローバル課題の解決に向けた学びを深化させる。
- ・ 長崎大学熱帯医学研究所やJICAベトナムと連携し、ベトナムでの感染症研究を推進する。

### (3) 教員研修

- ・ 継続して「探究型授業」の開発をすべての教科で実践し、公開授業を実施してその普及を図る。
- ・ 探究活動についての職員研修は継続して実施し、対面・オンラインで普及を図る。
- ・ 職員の自主研修を奨励して実施し、生徒と同様、職員が常時学び合う環境づくりを醸成する。

### (4) 研究開発成果の普及・評価

- ・ 各種発表会や国内外の生徒交流・相互発表を企画・実施する。
- ・ 生徒の自己評価や客観評価をもとに個人分析表を作成し、生徒のキャリア教育を支援する。

令和5年度  
文部科学省 WWLコンソーシアム構築支援事業 成果報告会

ご清聴、  
誠にありがとうございました。

